島根県看護連盟だより

TWO HEART

ツーハート

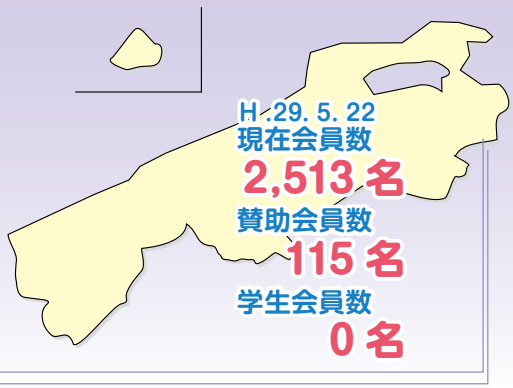
2017/5/25

第44号

「堀川遊覧と紫陽花」

INDEX

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……2
- 米田ときこ議員挨拶 ……3
- 松江市議会議員選挙活動 ……3
- 平成29年度 島根県看護連盟 通常総会プログラム ……4
- 第１号議案　スローガン（案） …4
- 第２号議案　活動計画（案） ……5
- 第３号議案　予　　算（案） ……6
- 第４号議案　選挙対策（案） ……6
- 第５号議案　役員選出 ……6
- 島根県看護協会･連盟合同研修会報告…7
- 中四国ブロック看護管理者･看護教育者看護政策セミナーに参加して ……8
- 松江地区３支部合同研修会報告 …8
- 千鳥支部研修会報告 ……9
- 出雲地区３支部合同研修会報告 …9
- 西部地区研修会報告 ……9
- 会員施設の紹介 …… 10
- お知らせコーナー …… 10
- 編集後記…… 10



発行：島根県看護連盟

発行責任者：会 長　松 浦 昌 代

〒690-0049　松江市袖師町 7-11　看護研修センター内
TEL(0852) 27-6361・FAX(0852) 27-6417
E-mail：shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

＊ 会長あいさつ

島根県看護連盟 会長　**松　浦　昌　代**

桜が散り清々しい緑の季節になりました。

今春は松江市議会議員選挙が行われました。島根県看護連盟ではかねてより政治力強化の為に、看護職の地方議員候補者育成擁立を目標にしていました。今回急きょ保健師の米田祝子さんが立候補を決断され、看護連盟より推薦を決め短期決戦に挑戦致しました。結果は皆様ご承知のように、見事に当選を果たすことができました。

米田とき子さんの当選をお祝いを申し上げます。市民のための政策に努められるように期待致します。この選挙を通して多くの皆様に支援をいただき感謝申し上げます。選挙の結果を謙虚に受け止めて、改めて総括をしたいと思っております。

平成 28 年度は島根県看護連盟創立 55 周年を迎えて記念式典を施行しました。日本看護連盟草間朋子会長には記念講演をして頂きました。また 50 周年から 5 年間の活動をまとめた記念誌も発刊することができました。

さて、平成 29 年度の島根県看護連盟総会を 6 月 24 日（土）にビッグハート出雲にて開催致します。

超高齢少子社会の先進県である島根県では、特に地域包括ケアシステムは大切な政策と考えます。地域の人々の安心安全な生活を中心にして、一人一人のナースが看護・介護チームのメンバーの中心で活動出来るようにすることが大切です。そのためには看護基礎教育や特定研修制度の充実、人材育成が必要であります。さらに看護労働環境の改善など看護政策の検討や実現にむけて課題がたくさんあります。

私達は「ベッドサイドからの声を届ける」ことを心に留め、私たちの代表議員とともに活動強化をしましょう。各自が自律した会員であることを目指して組織の強化に努めましょう。

多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

平成29年度 看護連盟会員 募集中 －あなたの力が連盟活動を支えます－

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正 会 員	年会費 9,000 円	本部会費 5,000 円、県会費 4,000 円
特別会員	年会費 9,000 円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員	年会費 1,000 円	看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます
学生会員	年会費　無　料	就学している看護学生の方

お問い合わせ　事務局　TEL(0852) 27-6361　FAX(0852) 27-6417　E-mail : shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

＊＊＊＊＊ 市議会議員に当選して ＊＊＊＊＊

松江市議会議員　米　田　祝　子

この度島根県看護連盟の皆様の強い結束により、松江市議会議員選挙におきまして、初当選の栄誉を得ることが出来ました。皆様に労苦を惜しまず活動していただき、苦難を乗り越えることができましたことは誠に感慨深く感謝の日々です。そこで、長年の看護職の経験を生かして少子高齢・人口減少社会の中で、住み慣れた地域にできるだけ住み続けられるよう、地域で支えあうことができる環境づくりが最も重要と考えています。

そのためには、子育て環境日本一を目指す松江市としても更なる保育所の充実や子育て相談ができる体制づくりなど子育て環境の整備を促し、安心して産み育てられる環境づくりを進めたいと考えています。

また、地域に住み続けるためには、地域包括ケアシステムの構築つまり集落単位で集う場や支えあう環境づくりを進めます。

誰もが願う健康づくりや安心・安全な医療・介護・福祉施策を推進し、みんなが生きがいを感じられ、安心・安全な松江市を目指します。近年、未曾有の災害が発生しています。そのためにも平常時より災害に関するボランティアや避難行動がとれる災害教育の普及啓発に努めるよう促していきます。

何といってもこれらを支えるのは「人」、つまり我々一人一人がいつでも学べる環境と支援制度が重要です。子どもから高齢者までが求める時に求める教育がより一層受けられるよう取り組んでいきます。

女性の視点で、新しい風を松江市に起こし、看護の力を市政に向け、新しい松江市づくりに力を尽くしていきます。

米田とき子 松江市議会議員選挙活動

よろしく
お願いします！！

ご支援ありがとうございました

平成 29 年度 島根県看護連盟通常総会プログラム

日　時：平成 29 年 6 月 24 日（土）
場　所：ビッグハート出雲

通常総会プログラム

12：00	開　場　受　付
12：55	オリエンテーション
13：00	開　　会
	挨　　拶　　島根県看護連盟 会長
13：15	来　賓　祝　辞
	来　賓　紹　介
	祝　電　披　露
13：40	特　別　講　演　　「国政報告（仮）」
	参議院議員　たかがい 恵美子 氏
14：40	講　演　終　了
14：50	議 長 団 選 出
	報　告　事　項
	1. 平成 28 年度島根県看護連盟通常総会報告
	2. 平成 28 年度日本看護連盟主催の会議報告
	3. 平成 28 年度中国四国ブロック協議会活動報告
	4. 平成 28 年度活動報告
	5. 平成 28 年度決算報告
	6. 平成 28 年度監査報告
	審　議　事　項
	1. 第 1 号議案　平成 29 年度スローガン（案）
	2. 第 2 号議案　平成 29 年度活動計画（案）
	3. 第 3 号議案　平成 29 年度予算（案）
	4. 第 4 号議案　選挙対策（案）
	5. 第 5 号議案　役員選出
	議 長 団 解 任
	平成 29 年度日本看護連盟通常総会代議員報告
	新 役 員 紹 介
	綱　領　宣　言
	日本看護連盟の歌斉唱
16：00	閉　　会

第 1 号議案　平成 29 年度 スローガン（案）

「ベッドサイドから政治を変える！」

～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～

第２号議案　平成 29 年度 島根県看護連盟活動計画（案）

［重点目標］1. 組織強化と拡充を図り集票力のある組織をつくる
2. 政策を実現できるような政治力を持つ　3. 看護連盟会員の政治参画への意識を高める

項目	目　　標	活　　動	推進機関 県	推進機関 支部	手段・内容等　（活動推進方法）
組織力の強化	会員の獲得と定着 平成 29 年度 会員数目標　2,700 名 賛助会員目標　250 名	継続会員の定着 連盟活動の周知、理解促進	○	○	会員勧誘活動の継続、退職者への継続加入の働き掛け
					情報提供、ツーハート３回 / 年、ホームページ適時更新
					研修会（基礎研修、ミニ集会、他）
		連盟未加入者への入会促進	○	○	入職時に連盟入会の説明の徹底
					未加入施設への働き掛け（施設訪問、研修案内など）
					看護管理者への働き掛け
		賛助会員、学生会員への入会促進	○	○	看護職 OB、知人、親族、議員等への働き掛け
					学校訪問
					ポリナビ等への参加
	看護管理者、看護教育者の連盟活動への理解促進	看護管理者、看護教育者の連盟活動への理解促進	○	○	施設訪問
					研修会への参加
					青年部からの説明会
					他県の会員との交流会
	県、支部活動の活性化	施設幹事、リーダー（部署連絡員）の複年次での育成	○	○	可能な範囲での役割の継続
					県、支部、施設内、部署内でのサポート
					研修会、支部役員会や交流会
		若手会員の育成	○	○	青年部役員と支部や施設幹事との連携
					施設内での青年部活動のモデル的取組
					ポリナビ、研修会への参加促進
		日本看護連盟と県連盟、支部との連携	○	○	定期的会議、情報交換
					支部活動の目標管理、活動評価
		研修会参加後のフォロー	○	○	研修会参加後の報告
	他団体との連携強化	県、看護協会、県看護連、他団体等との連携	○		適宜話し合いをする
					県看護協会との情報交換、意見交換の場をもつ
	集票力の強化	組織連携の強化	○	○	集票力のある組織作りを学習する
					活動できる人員の確保
政治力の強化	看護政策に関する議論の活発化	会員への情報提供を効果的に行う	○	○	情報提供
					ツーハート３回 / 年、ホームページ適時更新
		看護現場の問題を議員と共有する	○	○	会員が現場の声を出す。情報交換の場を持つ。
					政策提言に結び付ける（要望書の提出等）
					議員との意見交換会
		看護職の問題等の解決のために活動ができる	○	○	看護協会との連携
					要望書の提出
		看護職の政治参画意識を高める	○	○	各種研修会企画
					国会見学、議員の活動の情報提供
	看護職国会議員への活動支援	看護職代表の国会議員の活動状況と知名度を周知する	○	○	広報誌、ホームページ、研修会などで議員の活動について情報提供する
		国政報告会や施設訪問、意見交換会の場をもつ	○	○	議員の国政報告や意見交換会
		第 25 回参議院議員選挙体制を整備する	○	○	候補予定者の名前の周知、日本看護連盟の計画に準じて活動する
	県出身の国会議員や地方議員との連携	県出身の国会議員や地方議員の開催される会に出席	○	○	新年会、活動報告会、後援会活動への参加等
		看議連との情報交換会等	○		看護協会とともに陳情、要望活動を行う
	中長期視点で看護職から地方議員候補者の育成、擁立	活動支援	○	○	地方議員立候補擁立へ向けての勉強会
		活動応援、選挙応援	○	○	政治アカデミー卒業者の積極的活用
組織の適正な運営管理	日本看護連盟と県連盟、支部との連携強化	定期的会議、定期報告、情報交換	○	○	
	事務局の適切な運営	会員管理	○	○	
	財政の適正管理	確実・適正な会計処理、監査	○	○	
会員の福祉	慶弔への対応	規約に基づき対応する	○	○	
	諸問題への対応	関係者及び専門家と相談の上、速やかに問題解決する	○	○	

第３号議案　平成 29 年度 予 算（案）（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

【 収 入 の 部 】

（単位：円）

項　　目	平成 29 年度予算額	平成 28 年度予算額	備　　考
Ⅰ 会　　費	11,050,000	11,050,000	
正会員費	10,800,000	10,800,000	会　員 4,000 円／　2700 人
賛助会費	250,000	250,000	賛助会員 1,000 円 /250 人
Ⅱ 預金利息	500	1,500	
Ⅲ 助 成 金	11,000,000	11,000,000	会費還元金、事務局運営助成、活動費助成、県別会議助成、リーダー研修、青年部運営助成 他
Ⅳ 雑 収 入	200,000	200,000	広告料
当期収入合計	22,250,500	22,251,500	
前 年 度 繰 越	6,092,978	8,909,718	
合　　計	28,343,478	31,161,218	

【 支 出 の 部 】

項　　目	平成 29 年度予算額	平成 28 年度予算額	備　　考
Ⅰ 会議諸費	3,200,000	3,100,000	
総会費	1,500,000	1,500,000	県総会・会場費 他
役員会費	1,200,000	1,200,000	役員・支部長合同会費 他
委員会費	500,000	400,000	
Ⅱ 事業費	14,900,000	15,650,000	
組織対策費	11,000,000	11,000,000	本部総会　活動費 他
教育費	2,000,000	2,000,000	県主催研修会
渉外費	200,000	200,000	慶弔費　年賀状 他
機関紙発行費	1,000,000	950,000	機関紙印刷
55 周年記念事業	700,000	1,500,000	記念誌発行
Ⅲ 運営維持費	8,840,000	8,740,000	
人件費	6,000,000	5,500,000	職員給与　社会保険料
光熱水費	240,000	240,000	
備品・消耗費	300,000	500,000	事務用品トナー代金 他
事務所費	2,300,000	2,500,000	電話料　郵券料コピーリース料 他
小　　計	26,940,000	27,490,000	
Ⅳ 予備費	1,403,478	3,671,218	
合　　計	28,343,478	31,161,218	

第４号議案　選 挙 対 策（案）

第５号議案　役 員 選 出

役　　職	氏　　名	再任・新任
会　　長	川　合　政　恵	新任
副　会　長	桶　田　　貢	新任
財政担当幹事	岡　田　治　子	新任
組織担当幹事	米　田　祝　子	新任
政策担当幹事	淀　江　君　恵	新任
広報担当幹事		
監　　事	飯　野　泰　子	新任
顧　　問	松　浦　昌　代	新任

島根県看護協会・看護連盟合同研修会の報告

平成29年2月19日(日)、看護研修センターで合同研修会を開催し、126名と多くの参加がありました。

参議院議員　石田まさひろ先生には「**国政報告**」と題してご講演をして頂きました。今の国政の動きだけでなく、20～30年後の看護現場がどうなっていくかのお話をききながら、改めて看護の本質を考えることができました。

島根県立大学学長 本田雄一先生は「**社会が変容する中で学び続けることの意義**」と題して、「どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう」とご自身の体験を通した生き方をお話頂きました。多くの受講者が感銘を受けました。

実施後のアンケート用紙には、いつもより多くの感想が記されていました。

～～ 石田議員の講演の感想 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

- 現場で感じているジレンマなどを、政治の場で働いている方が感じて考えて下さっていることがわかりよかったです。
  今は大変だと思いますが、将来少しでもベッドサイドにいる時間が取れる現場になっているといいなと思いました。また、この研修で原点に戻って感性を磨きよい看護をしていきたいと思うことができました。
- 看護と政策の結びつきの大切さを改めて実感した。世の中のスピードや先を見る目を養っていきたい。
- 先を見据えることの重要性がよくわかった。看護の原点を再認識することができた。人を引き付ける話し上手。
- 現在から未来に向けての医療･看護･福祉のあり方がよくわかりました。現場では毎日疲弊している現状。ベッドサイドでのケア、ケアしてよかったと思える看護師を育てる教育をしていきたいと思いました。
- 議員の先生のお話なので政治やお金の話かと思っていましたが、看護師として大切なこと、患者の側にいて患者に幸せな思いにしていくこと、この為に政治を頑張っているという話を聞いて幸せなことでした。ＡＩに負けないよう頑張ります。
- 現場の思いをよく理解されていて、とてもよい話が聞けて良かったです。定期的に石田先生のお話を聞く機会がもっとあれば嬉しいです。
- 療養病床で勤務しています。慢性期についてふれてもらい嬉しく思います。本人らしい人生の最終を送って頂く為に看護職は頑張っています。これからについて現状のままでも取り組めるヒントを少し頂きました。
- 「医療は病気を治して幸せにすること」一番大切なこと、忘れかけていませんか？と、専門職としての姿勢を再度想い起こさせて頂きました。
- 患者の幸せの尺度は何だろう？

～～ 本田学長の講演の感想 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

- 経験・経歴を通じて、学び続けられた人生だったということが良くわかった。また、学び続けることも社会的情勢などをふまえて行っていくことが重要なのだと理解することができた。看護師として日々学習、一生学び続けていく立場として、改めて学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思えた。
- 専門職のブラッシュアップの必要性を感じました。ご自身の経歴と社会的動向を照らし合わせた内容をわかりやすく学習の必要性を感じることができました。
- 看護師という職業に誇りを持って働くこと、後輩を育てることが必要だと感じた。
- 「おかれた場所で咲きなさい」日々仕事でいろいろ思うことはありますが、それでもその中で自分の花を咲かすことは大変なことと思います。この言葉の難しさを感じながらも、咲かす努力は必要なのだと改めて思います。
- 情勢は厳しいが、目先のことを受け止めて学ぶ姿勢を忘れず頑張れ！と励まされているようでした。
- 先生のこれまでの経歴をお聞きして、目の前にくる課題に向けて望む望まぬに関わらず、自分なりに取り組むことそのものが生涯学習なのだと感じました。
- 違った分野の講師による講演も時には良いと思いました。
- 専門的な内容は少しわかりにくかったが、県立大学の看護教育、地域との連携について知ることができた。人材育成の場を活用していきたい。

平成 28 年度 中四国ブロック 看護管理者・看護教育者看護政策セミナーに参加して

益田赤十字病院　看護部長　宮　内　幸　子

平成 28 年度中四国ブロック看護管理者・看護教育者看護政策セミナーが、12 月 3・4 日に高知で開催され、島根県からは 5 名が参加させて頂きました。初日は、日本看護協会専務理事の井伊久美子氏の講演がありました。「看護政策の推進について」というテーマで、平成 29 年度の重点政策となる看護基礎教育制度改革の推進や、看護協会と連盟が連携して政策への提言をしていく必要性を力強く述べられました。その後、中谷元衆議院議員の講義では、今の世界情勢について楽しく学ぶことが出来ました。

夕食を兼ねた懇親会では、高知の名物料理を堪能しながら、よさこい踊りを皆で踊り、多くの方と語り合い、連盟会員の輪が広がり楽しい時間を持つことが出来ました。

2 日目はシンポジウム「組織強化への取り組み」と題して、香川・愛媛・広島県の連盟会長・協会長の発表とフロアとの意見交換が活発に行われました。連盟と協会が同施設内にある県では、ミーティングに参加して現状をお互いに理解し合うこと、県議会や行政との交渉術など話題は多岐にわたり、協会と連盟が協働して組織強化に取り組んでいることを理解しました。そして、最後のグループワークでは、「現場から政治を動かすために取り組むこと」について話合い、会員が連盟の活動を正しく理解し伝えていくことの重要性を痛感しました。また施設連絡員や部署連絡員が役割意識をもつこと、若い世代が政治に興味がもてるようにしていくことの大切さなどを情報共有し、私自身も連盟への理解を深めることができて、有意義なセミナーになりました。

今後、看護管理者の役割は、安全な医療提供を保証するための看護政策実現に向けて、会員増や会員育成に努めると共に、現場の声を連盟活動につなげていくことです。これから目標に向かって、前進できるように努力していきたいと考えています。今回、このようなセミナー参加の機会を与えて下さりありがとうございました。

松江地区 3 支部合同研修会の報告

松江支部支部長　土　江　加寿子

松江 3 支部は、平成 28 年夏の参議院議員選挙の経験を踏まえ、「選挙活動の活性化や投票行動につなげるための各連盟会員への働きかけ方についてヒントを得ることができる」ことを目的に、1 月 28 日に研修会を開催しました。講師は石田まさひろ議員の秘書である五反分正彦氏に依頼しました。

参加者数は 46 名でした。講義では、政治と私たちの生活や仕事との関係を身近な例で説明されました。また、「看護」は病んでいる人のみならずその家族や周囲の人々まで幸せにする素晴らしい仕事だということを、看護職自ら自覚して欲しいと話されました。だからこそその働きを十分に発揮できるよう国や地方から予算を回してもらう必要があり、そのためには国会に「看護の価値」をわかる議員を出し続ける必要があると訴えられたことが印象的でした。

後半は、「私たちと政治の関係」「政治参加や投票行動の重要性をどのように他者に伝えるか」についてグループワークを行いました。『政治の場に看護職の代表を送らなければならない事を痛感した』『職場からの声をあげて良い看護につながるようにするためには政治を知ることが大事だ』『研修会で知ったことを伝えることが大事』『看護連盟の研修に参加することを勧めることは自分にもできる』などの意見があり、これらの内容から、研修目的は達成できたと考えています。

五反分正彦氏を囲んで

千鳥支部研修会を開催して

千鳥支部長　岩　谷　節　子

平成 28 年 12 月 7 日（水）　ホテル白鳥に於いて千鳥支部会員（賛助会員含む）対象の研修会を開催しました。当初予定していた日程は台風接近により急遽中止となり、再度の案内になりましたが、22 人の出席を得て無事開催することができました。

講演は学校法人澤田学園松江総合医療専門学校理事長　澤田勝寛氏より「長寿社会の生き方」と題して、自分らしく生き生きと生活をする工夫を示唆していただき、参加者にとって有意義なひとときになりました。

学校法人澤田学園
松江総合医療専門学校
理事長 澤田 勝寛 氏

また、松浦会長より連盟活動の現状や看護界における課題等の話もあり、意見交換会では会員増加のためには早い段階から必要性についての理解を得る努力が必要との貴重な意見を頂き、今後の活動に大いに参考になりました。

千鳥支部は経験年数や年齢層も幅が広く、交流会の実施方法など今後も皆様の声を聴かせて頂きながら開催していきたいと思います。

出雲地区 3 支部合同研修会の報告

出雲第 2 支部　安　田　和　子

12 月 3 日（土）13 時から朱鷺会館において、出雲地区 3 支部合同研修が開催され約 80 名の参加のもとで、基調講演と寄せ植え教室がありました。

「看護と一緒に歩んだ道」と題して、島根県看護連盟会長の松浦昌代氏から日本看護協会や看護連盟の歩みと共に、島根県における歩みを詳しくお話いただきました。

私は病院勤務経験後に訪問看護に携わり現在に至っていますが、現場ではさまざまな問題点に直面することがあります。看護職の代表を国政に送り続ける努力の結果、看護職を取り巻く環境は大きく変化し、処遇改善や教育の充実、地位向上等を実感しています。松浦会長には、自身の看護観をしっかりと持ち、地域社会を支えることが必要であるとエールを送って頂いたように思います。

包括ケアシステムの構築が求められる中で看護職には大きな期待が寄せられています。専門職として自立していくために、一人ひとりが看護協会と連盟の組織会員として参加し輪が広がるように努力していきたいと思います。

寄せ植え教室は来年 5 月まで楽しめるガーデンシクラメン等を、花の郷いづもの職員さんに指導して頂き、気分転換ができました。アンケートでも好評でした。

島根県看護連盟西部地区研修会報告

益田地域医療センター医師会病院　中　島　千　加　子

平成 29 年 2 月 25 日（土）に島根県看護連盟西部地区研修会が開催されました。大田、江津、浜田、益田支部合同研修会は今回で 3 回目の開催でしたが、各支部より多くの参加がありました。

今回の研修会では、3 施設の施設幹事より各施設での看護連盟活動についての報告がありました。看護連盟に関する意識調査についての報告や会員数を増やすための工夫、日々の活動で大切にしていること、また今後の課題などさまざまな内容で、他の支部、施設の状況や取り組みを詳しくお聞きする機会は少ないですので、とても興味のある内容でした。また、各施設とも特色をいかした日々の地道な活動をされていることを感じ、今後の活動の参考にさせていただきたいと思いました。

益田地域医療センター
医師会病院
岸高 奈美子 さん

済生会江津総合病院
川由 京子 さん

大田市立病院
横田 恵美子 さん

連盟会員として自分にできること、またするべきことをあらためて認識するよい機会になったと思います。

島根県看護連盟会員施設の紹介

隠岐広域連合立 隠 岐 病 院

看護部長　崎　美　樹

当院は、平成25年に世界ジオパークに認定された“日本海に浮かぶ宝島”隠岐諸島の島後にある最も大きな医療機関として、へき地医療拠点病院や災害拠点病院にも指定されている中核病院です。平成24年に新病院となりヘリポートも整備され、救急医療の充実が図られました。病床機能としては、一般91床、精神22床、感染症2床の115床ですが、離島という限られた環境と、人口減少は続くものの高齢者は増加している中、急性期から在宅医療まで担わなければならない当院の果たすべき役割は大きく、地域包括ケア病床の導入も含め、島で必要な安心の医療を提供できる体制作りが課題だと感じています。

毎年地元出身者の採用もあり、看護部門職員は143名ですが、充足には至らず、看護職確保対策のなお一層の努力が必要です。そのためにも、安心して働き続けられる職場環境を目指し、職員のワークライフバランスの推進にも取り組んでいます。平成28年5月に開所した院内保育所の充実や、就業制度利用の促進、夜勤・交代制勤務の負担軽減などをすすめていきたいと考えています。

また今年度より、離島医療に必要な人材の育成及び招聘を目的として「島の医療人育成センター」を立ち上げ、小学生から研修医まで希望があれば研修・実習の調整を行なったり、医療の質向上のための研修会の計画、また関係機関と協力し積極的な広報や招聘活動を行なう計画です。まず、離島隠岐を知っていただき、島の医療人をひとりでも増やしていきたいと思っています。

※施設のPRの場として活用して頂ければと思います。掲載希望の施設は、島根県看護連盟までご連絡下さい。

Information to Heart

月	日	曜日	行　事	場　所	講師他
6	15	木	平成29年度日本看護連盟通常総会	東京プリンスホテル	
6	24	土	平成29年度島根県看護連盟通常総会	ビッグハート出雲	たかがい 恵美子 氏
8	5	土	第1回リーダー研修	パルメイト出雲	大島 敏子 氏
9	2	土	中四国ブロックポリナビワークショップ	今治国際ホテル	・石田 まさひろ 氏 ・シンポジウム

エーデル
EDEL
2017 collection
この心地良さ、誰にも譲れない

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社
島根営業所 0120 - 996104
〒690-0055 島根県松江市津田町 316-2

東洋羽毛のテレビCM「創業品質」
徹子の部屋 放映中！
毎週火曜日 昼12:00～12:30
テレビ朝日(EX)系 全国24局ネット

編 集 後 記

新緑の季節。休日には森林浴で頭を休めながら、看護職現場の様々な課題解決に向けて、今年もフル回転で役員一同がんばります。そして「政治と看護の重要性」を皆様に理解していただきながら情報提供や課題解決の研修に取り組みますので、ご意見お待ちしています。

担当　米田・宮本・船田・浅津